

◎注意事項をよくお読み下さい

# りそな 経済フラッシュ

## (日米 Market View : オルタナティブデータの活用～日経CPINow)

2024/5/13

りそなホールディングス 市場企画部

担当: 渋谷



### ○オルタナティブデータによるCPIの予測可能性

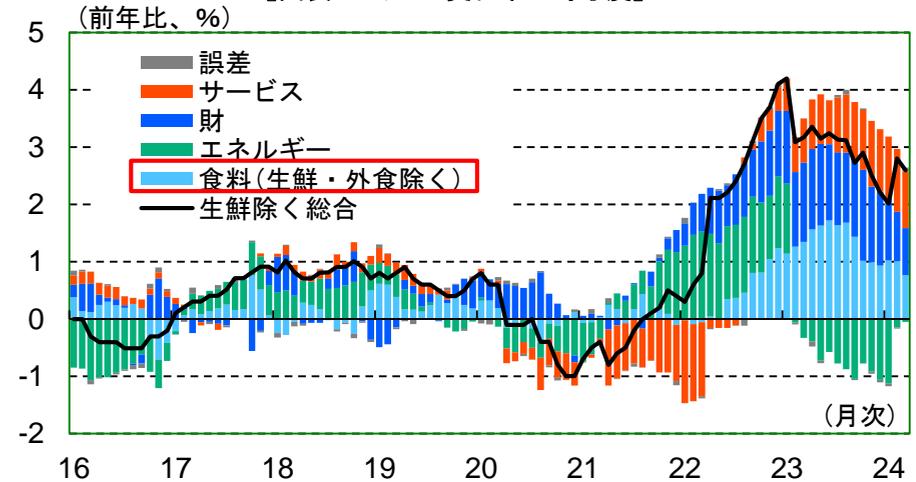
- 周知の通り、インフレの安定は経済成長に必要な不可欠であり、金融政策の決定においてはインフレ指標が非常に重要視されている。我が国では総務省の公表する消費者物価指数(CPI)が代表的なインフレ指標であり、当月分計数の公表時期は翌月下旬である。
- 昨今では、経済動向の変化を機敏につかむために頻度や速報性に優れたオルタナティブデータの活用が注目されている。インフレ指標におけるオルタナティブデータには、ナウキャスト社が提供する日経CPINowが挙げられる。日経CPINowは全国のスーパーマーケットで販売される商品の価格を、POSシステムを通じて収集するデータであり、毎日更新で当日の計数が3日後に公表されるという頻度・速報性に優れた点が大きな特徴である。
- 日経CPINowをCPIの食料項目(生鮮食品と外食を除く)と比較するとおおむね動きは一致し、高い相関が確認できる(図表1)。ただし、CPIの方が日経CPINowよりも大きく出やすい特徴がある。両指数で算出の計算手法が異なることや、日経CPINowがデータの性質上セール品などの影響を受けやすいことが要因とみられる。
- CPIの食料項目が全体の変動にどの程度影響するかを確認するため、生鮮食品を除くCPI総合(コアCPI)変化率を寄与度分解した(図表2)。コアCPI構成目目のうち食料が占める割合は15%程度だが、食料は他品目に比べて価格の変動が大きくなりやすいため、変化の寄与度は時期によっては大きな割合を占めることがわかる。
- 全体の変化に対する食料項目の寄与の大きさを考えると、日経CPINowの活用によって当月のコアCPI変化率がどう変化するかの大まかな方向感を予測するに難くないだろう。例えば、4月のコアCPI変化率がどのようになるかを日経CPINowのデータから予測する。4月の日経CPINowのデータからはCPIの食料項目は引き続きインフレの減速が示唆され、コアCPI変化率を前月から0.1%程度押し下げると推計することができる。

【図表1: 日経CPINowとCPI食料(左:時系列推移、右:単回帰分析結果)】



	係数	t値	p値
切片	0.63	17.16	0.000
CPINow	1.10	63.25	0.000
決定係数	0.94		
観測数	273		

【図表2: コアCPI変化率の寄与度】



出所: 株式会社ナウキャスト『日経CPINow』、総務省『消費者物価指数』、上野有子・北口隆雅(2023)『オルタナティブデータの景気判断への活用可能性～POSデータによる物価変動要因の分析～』

注: 図表1のCPI(生鮮・外食除く食料)は2014年の消費税増税の影響を除く処理を行っている。また、日経CPINow(食料)は、日経CPINow全品目のうち食料項目のみ集計したものを使用している。回帰式:  $(CPI_{食料変化率})_t = \alpha + \beta(日経CPINow_{食料変化率})_t$  ( $\alpha$ : 定数、 $\beta$ : 係数、 $t$ : 時間)

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな 経済フラッシュ

## (日米 Market View : オルタナティブデータの活用～日経CPINow)

### ■バックナンバー

No	発行日	テーマ	タイトル
1	2024/4/2	米経済, 米国株	<a href="#">日米 Market View : 3月ISM製造業景況感指数</a>
2	2024/4/5	日本株	<a href="#">日米Market View : 日本株需給</a>
3	2024/4/12	日本株	<a href="#">日米Market View : 日本株需給</a>
4	2024/4/19	日本株	<a href="#">日米Market View : 日本株需給</a>
5	2024/4/22	米国株	<a href="#">日米Market View : シリコンサイクルから見る米ハイテク株の展望</a>
6	2024/4/23	日本株	<a href="#">日米Market View : 日本株バリュエーション</a>
7	2024/4/26	日本株	<a href="#">日米Market View : 日本株需給</a>
8	2024/5/2	米経済	<a href="#">日米Market View : 5月FOMC</a>
9	2024/5/7	米経済, 米国株	<a href="#">日米Market View : 米国のAIブームはITバブルと同じ末路を辿るのか？</a>
10	2024/5/13	日本株	<a href="#">日米Market View : 日本株需給</a>

## ◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。